

科目名 Course Name	個性と保育 Individuality, Child Care and Education			ナンバリング No.	K4-004		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	松崎勇人						
連絡先(質問等)	本館2階研究室(湯沸かし室前)、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	選択 (保育士養成課程選択必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p>個性とは、個性を生かす保育とは、個性を伸ばす保育とは何かについて、受講者と共に考え、今後の保育実践に役立てるヒントを得る。</p> <p>①個性とは何かについて述べられる。 ②個性を生かす保育とは何か述べられる。 ③個性を伸ばす保育とは何か述べられる。 ④個性を伸ばす保育の教育方法上の特徴と、教育計画上の特徴、評価の特徴を述べられる。 ⑤個性保育の前提となる価値観について述べられる。</p>						
授業の方法	資料配布に基づくディスカッション、参考文献の購読とミニッツペーパーによる講義内容の要点の提出、黒板やプリントを通しての解説を行う。						
学習成果	L01						
	L02	①個性を尊重する保育の影響を予測できる。 ②個性を伸ばす保育を構想することができる。 ③個性を伸ばす保育の評価を構想することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	講義中に返却する。						
教科書/参考図書	『幼児教育方法論入門 (第2版)』石垣恵美子・玉置哲淳編著、建帛社。参考図書は随時指示する。						
履修上の留意点やルール等	休まないこと。私語をしないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。主体的に、対話的に、探究心を持って参加すること。こどもフィールド2年生のみ受講可。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準は、テキストや資料を読んでから授業に臨んでいること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられること、考えをまとめられることなどである。		20		
レポート/作品					
発表					
小テスト	基本的事項について述べられるか筆記試験で確認する。		80		
試験					
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、個性の意味について討論し発表する。
	事前・事後学習	自分の考えをまとめて提出する。
2	授業内容	個性の発達
	事前・事後学習	個性の発達について整理する。
3	授業内容	導く保育における個性の発達
	事前・事後学習	要点を整理する。
4	授業内容	その方法、計画と評価上の特徴
	事前・事後学習	要点を整理する。
5	授業内容	見守る保育における個性の発達
	事前・事後学習	要点を整理する。
6	授業内容	その方法、計画と評価上の特徴
	事前・事後学習	要点を整理する。
7	授業内容	参加包育における個性の発達
	事前・事後学習	要点を整理する。
8	授業内容	その方法、計画と評価上の特徴
	事前・事後学習	要点を整理する。
9	授業内容	社会構成主義と保育者による介入
	事前・事後学習	要点を整理する。
10	授業内容	レジジョ・エミリア・アプローチの特徴
	事前・事後学習	要点を整理する。
11	授業内容	レジジョ・エミリア・アプローチにおける個性尊重
	事前・事後学習	要点を整理する。
12	授業内容	スウェーデンの保育に見る個性と責任感の尊重
	事前・事後学習	要点を整理する。
13	授業内容	フィンランドの教育における個性の尊重
	事前・事後学習	要点を整理する。
14	授業内容	個性尊重と民主的価値観
	事前・事後学習	要点を整理する。
15	授業内容	まとめ（保育実践へ向けて）
	事前・事後学習	学んだことを吟味し保育実践にどう役立てるか考える。